

読売新聞 ワークシート

ワーク・ライフ・バランスとは

所属

氏名

◆ ワーク・ライフ・バランスという言葉をついに耳にするようになりました。高度成長期にはバリバリ働く「モーレツ社員」がもてはやされましたが、今は仕事と生活の調和が重要視されています。なぜでしょうか。仕事と生活のアンバランスは、社会や個人にさまざまな悪影響を及ぼすからです。

(2017年11月5日 読売新聞朝刊社会保障面より)

* 話し言葉による会話のスタイルを使って複雑な問題をわかりやすく解説しています。

【1】仕事と生活のバランスが崩れると、どんな悪影響が出るでしょうか。記事を読んで、下のカッコ内に語句を入れてください。

- ・長時間労働が続く→家族と過ごせない →(①)が進む
- ・女性にも働いてほしい→育児や家事は女性に →(②)が進む

【2】仕事と生活の調和をとるための方策を、記事の中から2つ選んで書き出してください。

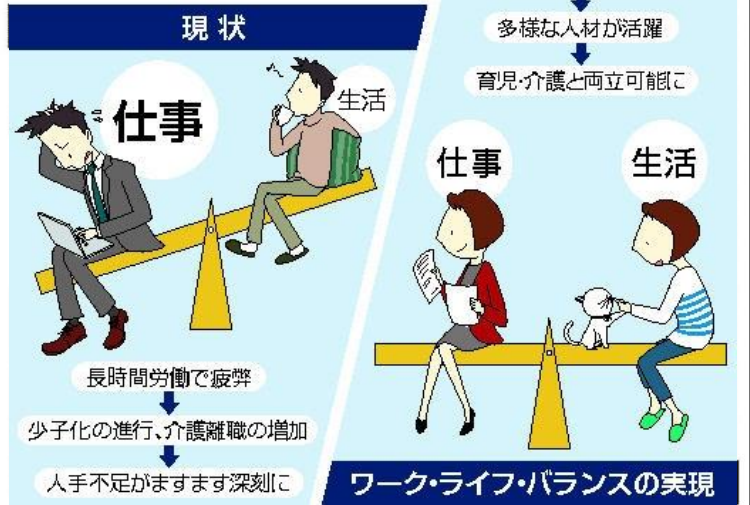
- (A)
- (B)

【3】仕事と生活の調和をとることは、なぜ、社会にとって大切なのでしょう。記事を参考に、自らの体験や身近な例などもあげながら、わかりやすい言葉を使って400字程度で答えてください。

A 政府は有給休暇の取得率など、2020年までに達成する13項目の目標値を定めている。でも、順調に目標に近づいているのは、就業率の伸びなど3項目だ。

余暇活動や自己啓発は新しいサービスや価値を生み出す仕事をしていくうえで大切だし、子育てや地域活動は、社会を維持していくうえで欠かせない。何より、個人が望む生き方を選べる社会にするためにも、地道に取り組むを続けたいといけなぬ。

どんな働き方が理想的?



ワーク・ライフ・バランスって何?



Q 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を聞いたけど、何のこと?

A 「仕事と生活の調和」のことだよ。仕事をしながら、趣味や余暇活動、子育てや介護、地域活動などの時間も持つような生き方を目指す動きだよ。

Q 何だか楽しそう。

A 「適当に仕事してもっと遊ぶこと」と誤解する人もいるけど、そうじゃない。政府も、こうしたライフスタイルを実現することを、

ニやるほど! 社会保障

Q 「社会を持続可能で確かなものにする上で不可欠」と考えて、取り組んでいるんだ。

Q どうして、政府が取り組むの?

A 個人や企業の取り組みだけでは、限界があるからね。背景には、経済や社会の変化がある。例えば、景気の低迷で、不安定な非正規雇用が増えた一方、長時間労働が常態化した正社員も多い。家族など過ごす時間を十分に持てない状況では、少子化の進行に拍車をかけかねない。

共働きは増えたのに、育児や家事の負担は女性に偏ったまま。労働力不足が問題になり、多様な人材に活躍してもらう必要があるのに、今のよう働き方や意識ではそれも難しい。

Q どうすればいいの?

A 働き方の見直しが必要だ。無駄な業務を減らし、労働時間の短縮に取り組み企業が増えている。子育てや介護中の労働者のために、在宅勤務など多様な働き方の導入も進みつつある。政府は、非正規労働者が安定した職に就くための支援や、保育サービスの充実などを進めているよ。

Q 少しは効果が出ているのかしら?

A 政府は有給休暇の取得率など、2020年までに達成する13項目の目標値を定めている。でも、順調に目標に近づいているのは、就業率の伸びなど3項目だ。

働きながら生活も充実

共働きは増えたのに、育児や家事の負担は女性に偏ったまま。労働力不足が問題になり、多様な人材に活躍してもらう必要があるのに、今のよう働き方や意識ではそれも難しい。